

## 第1の柱 企業誘致 (外発的産業振興)

本市にある県営笠岡港工業用地の分譲できる用地が少なくなっています。このため、企業のニーズに対応した新たな工業用地の確保・整備を民間活力を利用して図っていきます。

目標指標

指標名	実績値 2017年度	中間目標値 2021年度	目標値 2023年度
笠岡港工業用地での新規操業開始企業数(企業/年)	2	1	1
その他の場所での新規操業開始企業数(企業/年)	1	2	2

(注)「目標指標」は「笠岡市第7次総合計画」の達成目標対象指標に準拠した。以下同様。

## 第2の柱 地元中小企業振興・起業支援 (内発的産業振興)

地元の中小企業振興のため、企業コーディネーターの訪問を通して、中小企業が抱える経営課題の解決のための支援や金融支援、経営基盤強化等の支援を行ないます。また市内事業者の交流・連携を図り新たな事業展開、新産業創出を目指します。

目標指標

指標名	実績値 2017年度	中間目標値 2021年度	目標値 2023年度
市内農業産出額(千万円/年)(農水省市町村農業産出額推計)	613(2016)	669	700
事業継承支援補助金交付件数(件/年)	0	1	1
起業支援事業補助金の新規交付件数(件/年)	10	8	8
事業所数(経済センサス)(事業所)	-	2,153(2020)	2,145(2024)
従業員数(経済センサス)(人)	-	21,696(2020)	21,796(2024)
従業員4人以上の製造業の事業所数(工業統計調査)(事業所)	123	127	131(2025)
従業員4人以上の製造業の事業所数(工業統計調査)(人)	5,254	5,270	5,286(2025)

## 第3の柱 観光振興 (交流による経済活性化)

笠岡市観光連盟の機能を強化し、新しい観光メニュー・商品、地域ブランドの開発などに取り組み、観光客の拡大を図ります。また、観光客が安心して訪問できるよう、案内看板の設置や港周辺の待合所等のインフラ整備にも取り組みます。さらに、本市の知名度アップのため、観光関連情報を国内外に向けて効果的に発信するなど、シティプロモーションを推進します。

目標指標

指標名	実績値 2017年度	中間目標値 2021年度	目標値 2023年度
観光客数(1~12月)(万人/年)	130	144	180
かさおかブランド認定件数(件)	20	28	32
観光ホームページアクセス数(件/年)	38万	40万	41万

## 笠岡市産業振興ビジョン(改訂) 概要版

発行年月日：2019年(平成31年)3月

〒714-8601 岡山県笠岡市中央町1番地の1

笠岡市産業部 商工観光課

TEL：0865-69-1188 FAX：0865-69-2185



概要版

「しごとが生まれ育つまち笠岡」を目指して  
笠岡のまちづくりをします。

「笠岡市産業振興ビジョン」を初めて策定してから5年。本市は、「企業誘致」「地元中小企業振興・起業支援」「観光振興」を三本の柱に諸施策に取り組んできました。これらが効果を上げ、笠岡湾干拓地の北端エリアに木質バイオマス発電所を併設した最先端の野菜工場が稼働しました。また、県営笠岡港工業用地には11社14区画の企業立地が決定しています。既存事業者の工場等の新設や増設も盛んで、市民の働く場が着実に創出されてきました。有効求人倍率も高い数値で推移し、確実に地域経済は成長しています。

本市は、倉敷市や井笠圏域を含む人口100万人都市圏の中心に位置し、地理的に非常に高いポテンシャルを有しております。工事中の国道2号バイパスが完成すれば、倉敷市まで信号のない道路で結ばれます。山陽自動車道篠坂パーキングエリアのスマートインターチェンジ化も計画され、交通利便性はさらに高まるはずで。

また、日本遺産認定に向けた広域的な取り組みも進め、外国人観光客も対象として観光産業を振興させます。

様々な企業が集積すれば働く場所が確保され、本市全体で“稼ぐ”ことができます。地域が潤えば税金が増え、それを教育・福祉・インフラの整備に再投資すれば、本市の魅力はますます向上し、定住促進につながっていきます。親子2世代、3世代にわたって一緒に暮らしていけるような地域経済を、市民の皆様と共に作っていきます。

### 産業振興ビジョン改訂の考え方

これまでの取組成果を念頭に、さらに近年の経済を取り巻く環境の大きな動向、すなわち「人手不足」「後継者難」「労働生産性の伸び悩み」「働き方改革」、止まらない「人口減少」「少子高齢化」等の問題・課題や「進化する情報通信技術」や「インバウンドの拡大」等の有効な対応が求められる要因等について踏まえました。

### 計画期間

2019年(平成31年)度から2023年度までの5年間



# 笠岡市産業の課題

## ① 製造業

- 「人材不足の解消・人材育成」「生産性向上」「取引先拡大」
- 工業用地の確保
- 同業種・異業種との連携
- 労働力不足の中で、求人と求職のミスマッチ

## ② 商業・サービス業

- マーケットの縮小となる人口減少、特に若年層の減少
- 福山市等への市内購買力の流出
- JR笠岡駅周辺等、中心部の求心力の低下
- 「販売先・取引先の拡大」「人材不足の解消・人材育成」「経営力強化」「店舗改築・設備更新」
- 卸売業では「競争力の向上」、小売業では「PR・情報発信」「魅力ある商品・サービスの導入」
- サービス業では「業務改善」
- 後継者不足、IT化への取組についてはこれからという状況

## ③ 観光業

- 観光客は、日帰り客が多く、宿泊客はわずか、市内での回避性も低く広域連携が必要
- 観光団体のさらなる体制強化
- 観光資源への交通アクセス、施設、みやげ等のハード的な点
- かさおかブランド協議会を通して、かさおかブランドの育成・確立
- インバウンドへのハード、ソフトの対応
- 経営者の高齢化、後継者不足等
- 宿泊業では、「店舗の改築・設備更新」「公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備」

## ④ 農業・水産業

- 農家数の減少と小規模化による耕作放棄化の増加、農地の荒廃化と有害鳥獣による被害
- 畜産業は、高齢化、後継者不足、資材・燃料の高騰、家畜排泄物処理や環境問題(臭気・水質等)への対応
- 水産業は高齢化、後継者不足、環境変化や乱獲による漁業高の減少

# 産業振興ビジョンの基本的方向

## ① 基本理念

笠岡のまちを豊かにする多様なしごとが生まれる場づくり

キャッチフレーズ - しごとが生まれ育つまち笠岡 -

## ② 戦略方針

### 笠岡市産業振興施策の3本柱

企業誘致  
(外発的産業振興)

地元中小企業振興・起業支援  
(内発的産業振興)

観光振興  
(交流による経済活性化)

# 3つの戦略方針に基づく施策の体系

### 第1の柱

#### 企業誘致 (外発的産業振興)

- ① 新しい工業用地の確保・整備
- ② 企業誘致の推進
- ③ 誘致企業への支援

### 第2の柱

#### 地元中小企業振興・起業支援 (内発的産業振興)

- ① 経営安定化に向けた支援 (経営基盤強化等)
- ② 地域一体の新事業創出・事業承継サポート
- ③ 販路開拓サポート体制の強化
- ④ 新しいビジネス機会の創出
- ⑤ 商店街の振興
- ⑥ 域内循環型経済活性化のための「かさおかブランド」の充実・創出
- ⑦ 企業の魅力発信(企業・市民・行政が一体となって情報PR・発信)
- ⑧ 地元企業が求める人材の確保・育成

### 第3の柱

#### 観光振興 (交流による経済活性化)

- ① 観光客の拡大につなげる観光メニューとブランド
- ② 観光客受け入れ体制の整備
- ③ 効果的な情報発信(笠岡を知ろう、情報発信基地をつくらう)
- ④ 各種イベント等を通じたにぎわいの創出
- ⑤ 地域資源への誇り・愛着の醸成と地域ごとの魅力開発